

○議案第5号 奥州市介護保険条例の一部改正について

反対討論

条例改正の内容は介護保険料の大幅な値上げであり、高齢者は保険料の値上げを我慢するか、介護サービスを受けるのを我慢するかという選択を常に迫られ、制度改編のために負担増とサービス切捨てが繰り返されることになる理由から反対する。

○議案第16号 平成24年度奥州市一般会計予算

反対討論

久田前田中線整備事業など急がなくていいものは急がず、企業立地奨励工業用水補給金については減額など、見直しするものは見直しをするべきであると求めてきたが、その方向に改善されないで進められており、一部認めがたい点が含まれているので反対する。

賛成討論

奥州市においても限られた地区だけの

選択と集中ではなく、30

の地区が成り立たない奥

州市はありえない。30地

区の地域の個性が光り輝

くことが奥州市の発展に

つながることを信じ、そ

れに伴い国際リニアコラ

イダーの誘致実現を目指

し、世界に誇れる奥州市

のスタート元年となるこ

とを期待し賛成する。

○議案第19号 平成24年度奥州市介護保険特別会計予算

反対討論

特養への入所待機者の解消と保険料のバランスを考慮し施設整備を目指すとしているが、市の財政負担が大きなネックになっているように思える。胆江地域は第1号被保険者の数と施設入所可能数で見ると、老人福祉施設も老人健康施設も県内では最下位グループになっており、年々その率が下がってきている状況を早期に脱却すべきと考え反対する。

東日本大震災調査特別委員会報告

月12日、月日の委員会を開催しました。

月12日の委員会では、東京電力に対する要望活動の実施について、生活空間における当面の除染方針について調査いたしました。

月日の委員会では、付託を受けた請願審査を行いました。

請願第25号「農作業における野外焼却の安全面の確認についての請願」では、放射能から子どもたちを守るためには、農作業における野外焼却の安全面を確認することが早急に必要で、野外焼却に関する適切な措置を求める願いは理解できるものであることから、全会一致で採択すべきものと決しました。請願第26号「放射能汚染に

伴う給食の安全確保についての請願」では、市内の子どもたちの健康が早期に確保されるためには、学校給食センターにおける食品の放射能測定に万全を期することが必要であり、数値を公表するなど保護者の安心を得ることに努め、弁当等を持参する児童生徒に対し学校内での配慮が必要であるという願いは理解できるものであることから、全会一致で採択すべきものと決しました。



請願第26号を審査する震災特別委員会(3/9)

東京電力への要求活動

2市1町が東電へ

奥州市、一関市、平泉町の3市町議会は、月17日東京電力(西澤俊夫社長)本社を訪れ(広瀬常務らが対応)、「東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う要求書」を手渡しました。3市町議会からは正副議長や震災特別委員会委員長など20人が訪問し、相談窓口の岩手県南設置や放射能測定・除染に要した費用の全額負担などを要求しました。東京電力による回答は、月31日に福島原子力被災者支援対策本部が来庁し、3市町議会の正副議長などの出席のもと、回答書が各議長へ手渡されました。相談窓口の設置については、説明会や個別相談会の開催など、市と連携を取り対応していくこととし、相談窓口の常設については回答を得ることは出来ませんでした。また全ての要求に対しては原子力損害賠償制度のもと対応していくという内容でした。

なお、今後の取り組みについては、3市町議会連携を図りながら行うこととしています。



1/31渡辺議長に回答書を手渡す